



運営協議会だより

第6号

代表 近藤 弘文 校長 竹村 郷

第6回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 平成30年11月13日 17:00~18:30

■場 所 落合第六小学校 視聴覚室

■司 会 副校長 庖刀 由利子

1. 校長挨拶及び内容

表情が変わった子どもの変化・・・周年記念誌掲載座談会の様子より

自分たちが自由に出来る領域が増えた

他の学校にはないこと→続けてほしい

⇒失敗を恐れず様々な体験の機会をつくること→教師の都合で進めない→**児童主導**

繋ぐことの大切さ・・・河田祥司先生 香川大学付属小学校 11/10 講演

DASHは河田先生の取り組みのリメイク版をこの地域に当てはめ行っている

地に足のついた実感→柔軟に変える勇希、価値のある活動、⇒**生きた実感**

学校組織マネジメント教育・・・「これからの学校づくり」⇒ほぼ本校の取り組み通り

【意見交換】 近藤会長進行

地域協働学校研修会について 教育支援課久保田先生より

勝野正章氏 東京大学院教授 「**地域協働学校における評価について**」

新宿区の地域協働学校とは→学校、家庭、地域が一緒になって子どもたちの豊かな学びの関係を

作っていくしくみ それぞれが協働して良かったと思えること

評価について→耳を傾け、評価に関わる当事者が成長する、良い方向に変化する

コミュニケーションを大事にする

グラグリット社の方の授業 おえかきシンキング授業

とても良い授業であり、子どもたちにとって良い機会となっていたと思えました

低学年から出来ればもっとよかったのでは

絵の得意なタイプの子と物語を作っていくのが得意な子と表現が違っていました

教室が散らかり放題で進めているクラスがいました→指導が必要

展覧会について

自由な表現みてとれた→自分を表現できている

空間ワークショップについて

木材と輪ゴムだけで表現できるなど感心しました

今回は高学年だけで低学年の窓枠などの参加が無かった

中家) 好評の時間をきっちり取りたかったので今回は高学年だけにしました

始まる前に絵を描いてグループで話し合ったのでスムーズに進みました

自由意見

・繋ぐことの大切さとありますが学ぶ環境が違う中で中学に進んだときつまらなくなならないか
校長) 本校がリーダーとなって良い授業の見本となるように

・この取り組みの授業に戸惑っている子、苦手な子はいないのか

